

## 2022年3月期 第3四半期(累計) 連結決算ハイライト

## 1. 連結業績概要

第3四半期(累計)	実績	
	2021/3期 第3四半期	2022/3期 第3四半期
売上高	59,160	76,073
営業損益 (営業損益率)	△ 1,608 (△2.7%)	4,079 (5.4%)
経常損益 (経常損益率)	△ 2,064 (△3.5%)	3,950 (5.2%)
親会社株主に帰属する四半期純損益 (純損益率)	△ 2,282 (△3.9%)	1,941 (2.6%)
自己資本当期純利益率(ROE)*	△ 5.6%	4.5%
自己資本比率	33.3%	36.1%
純有利子負債(有利子負債-現預金)	41,847	34,547
設備投資	5,943	5,160
減価償却費	6,381	6,812
研究開発費	1,491	1,429
連結子会社数	33	33
為替レート(1USD/円)	105.80	111.92
為替レート(1ユーロ/円)	124.17	129.86

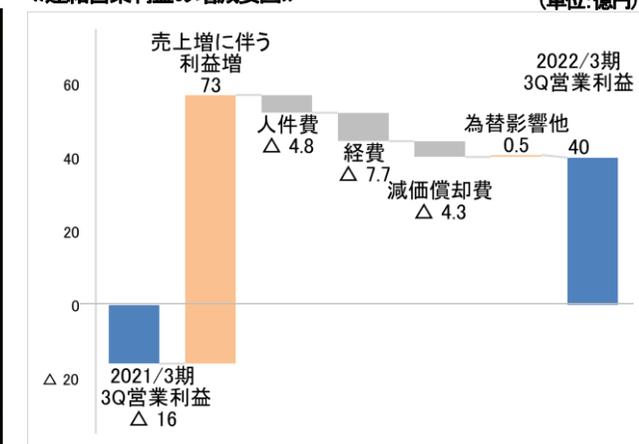
\* ROEは、親会社株主に帰属する四半期純損益を年換算し算出しております。

前年同四半期比	
増減額	増減率
16,913	28.6%
5,688	-
-	-
6,014	-
-	-
4,224	-
-	-
10.1%	-
2.8%	-
△ 7,300	△ 17.4%
△ 782	△ 13.2%
431	6.8%
△ 62	△ 4.2%
0	-

 ・左記為替レートは  
各期9月末TTMLレート

(単位:百万円)	
予想	
2022/3期 通期	100,000
	4,900
	(4.9%)
	4,850
	(4.9%)
	2,200
	(2.2%)
	-
	-
	-
	6,700
	9,400
	2,000
	-
	115.02
	130.51

&lt;&lt;連結営業利益の増減要因&gt;&gt;



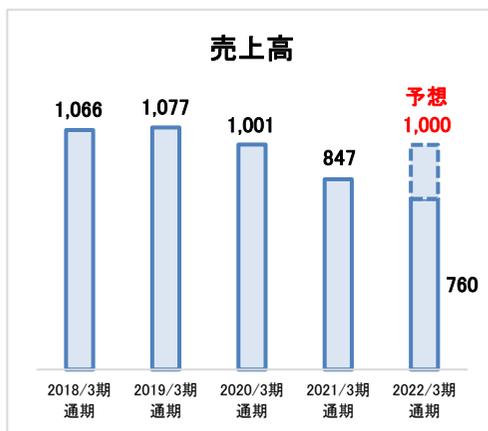
&lt;&lt;配当・配当性向&gt;&gt;

	2018/3期	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期 (予定)
中間	15円	15円	* 20円	10円	10円
期末	15円	15円	15円	10円	予定 15円
年間	30円	30円	35円	20円	予定 25円
配当性向	33.3%	32.0%	60.1%	888.7%	予定 53.1%

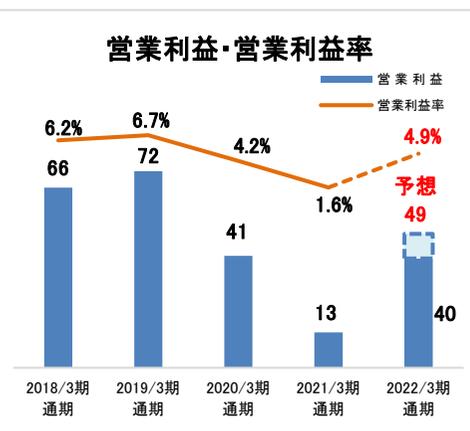
※ 2020/3期中間配当...普通配当(15円)+記念配当(5円)

## 2. 連結業績/設備投資・減価償却費 推移

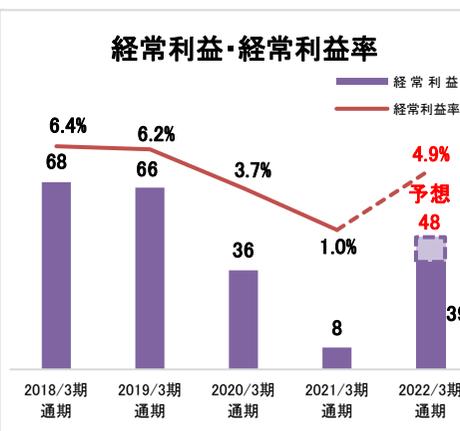
(単位:億円)



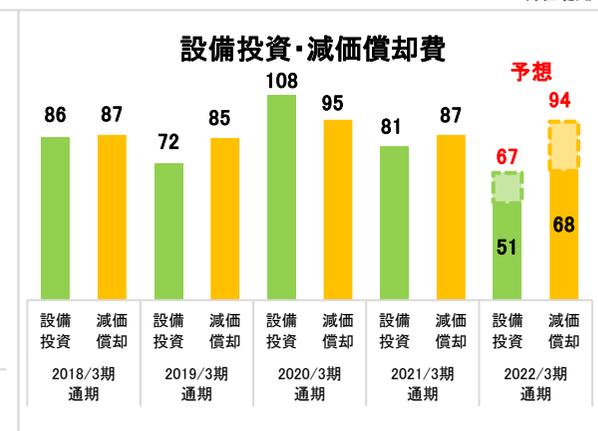
(単位:億円)

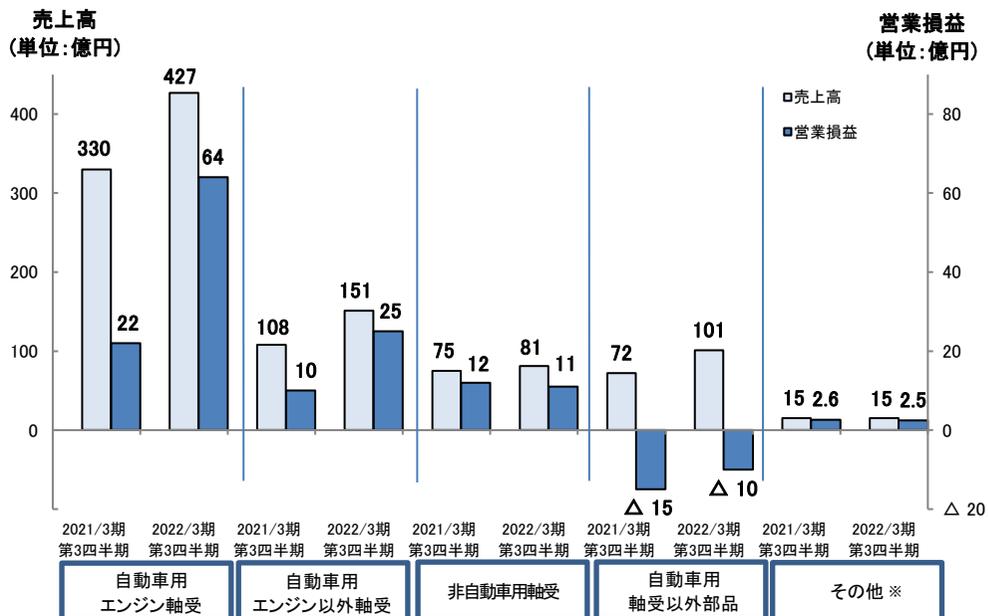


(単位:億円)

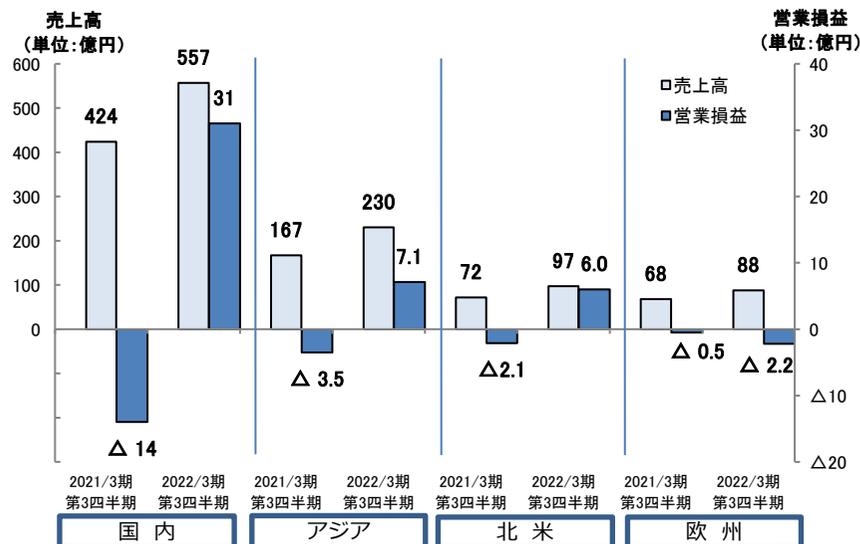


(単位:億円)



**3. セグメント別情報 / 売上高・営業損益(セグメント間消去前)**


※「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電気二重層キャパシタ用電極シート、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。

**4. 所在地別情報 / 売上高・営業損益(内部取引消去前)**


(注) 業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

セグメント	【売上高】		増減要因ポイント項目	【営業損益】	
	売上高構成比 2022/3期 第3四半期	前年同四半期比 増減額 (増減率)		前年同四半期比 増減額 (増減率)	増減要因ポイント項目
自動車用エンジン軸受	55.0%	9,711 (29.4%)	◎日本:乗用車では半導体供給不足等による需要の伸び悩みがあるものの新規開拓に伴う受注増 ◎日本:輸出用トラック向け(東南アジア向け等)のコロナからの回復による受注増 ◎海外全地域でのコロナからの堅調な需要回復による受注増 ◎国内外ターボチャージャー用軸受の堅調な需要回復による受注増	4,272 (192.4%)	◎国内外のコロナからの回復に伴う増収による影響
自動車用エンジン以外軸受	19.4%	4,251 (39.2%)	◎半導体の供給不足等による需要の伸び悩みがあるものの世界的な自動車部品メーカーのコロナからの回復による受注増	1,491 (140.9%)	◎国内外のコロナからの回復に伴う増収による影響
非自動車用軸受	10.5%	626 (8.3%)	◎船舶分野:国内船用業界の需要落ち込みの影響はあるものの継続的な中国向けの新規開拓に伴う受注増の下支え等 ◎建設機械分野他:建設機械関連向けのサービスパーツや発電機等の需要増加による受注増 △エネルギー分野:水力発電用軸受ユニットの新規受注等があったもののガスタービン・蒸気タービン用軸受の受注減	△63 (△5.1%)	◎建設機械分野他の増収による影響 △エネルギー分野の減収に伴う影響
自動車用軸受以外部品	13.1%	2,899 (39.8%)	◎飯野グループ:日本、中国、北米のコロナからの堅調な需要回復による受注増 ◎アルミダイカスト製品:タイの自動車関連のコロナからの需要回復及び電動自動車用アルミダイカスト製品の新規納入による受注増	520 (33.5%)	◎飯野グループ:コロナからの回復に伴う増収、生産性向上・合理化努力による利益改善の影響 ◎アルミダイカスト製品:タイのコロナからの回復に伴う増収、労務費等の削減努力による利益改善の影響
その他	2.0%	4 (0.3%)		△12 (△4.6%)	
セグメント間消去		△580		△520	
全体合計:		16,913 (28.6%)		5,688 (-)	

地域	【売上高】		増減要因ポイント項目	【営業損益】	
	売上高構成比 2022/3期 第3四半期	前年同四半期比 増減額 (増減率)		前年同四半期比 増減額 (増減率)	増減要因ポイント項目
国内	57.2%	13,309 (31.4%)	◎乗用車では半導体供給不足等による需要の伸び悩みがあるものの新規開拓に伴う受注増 ◎輸出用トラック向け(東南アジア向け等)のコロナからの回復による受注増 ◎建設機械分野:サービスパーツの需要増加による受注増	4,547 (-)	◎自動車関連のコロナからの回復に伴う増収による影響 ◎飯野グループ:コロナからの回復に伴う増収等の影響
アジア	23.6%	6,315 (37.8%)	◎中国:自動車日系メーカーの半導体供給不足等による需要の伸び悩みがあったものの中国ローカル向けの好調による受注増 ◎タイ:自動車関連のコロナからの需要回復による受注増及び電動自動車用アルミダイカスト製品の新規納入による受注増	1,063 (-)	◎中国:自動車関連のコロナからの回復に伴う増収による影響 ◎タイ:コロナからの回復に伴う増収、労務費等の削減努力による利益改善の影響 (自動車関連及びアルミダイカスト製品) ◎飯野グループ:コロナからの回復に伴う増収等の影響
北米	10.0%	2,480 (34.0%)	◎自動車関連のコロナからの堅調な需要回復による受注増 ◎建設機械分野:継続的な需要回復による受注増	819 (-)	◎自動車関連のコロナからの回復や継続的な建設機械分野の需要回復に伴う増収による影響
欧州(ロシア含む)	9.1%	1,952 (28.3%)	◎自動車関連のコロナからの需要回復による受注増	△169 (△314.1%)	
内部取引消去		△7,145		△572	
全体合計:		16,913 (28.6%)		5,688 (-)	